

P10

7月版

- 補剛材（リップ溝形鋼）
- ・ 指定されたリップ溝形鋼を使用してください。
 - ・ 補剛材のスパンは最小455mm、最大4000mmとしてください。
 - ・ 補剛材の間隔は必ず4m以内に1箇所設けてください。
 - ・ 補剛材に鉛直荷重を負担させることを想定していないので、上載梁レベルに配置される木梁と補剛材との間は必ず隙間があいた状態（固定・積載荷重が伝達しない）にし、天井吊り具を設けない（天井荷重を負担しない）ようにしてください。

8月版

- 補剛材（リップ溝形鋼）
- ・ 指定されたリップ溝形鋼を使用してください。
 - ・ 補剛材のスパンは最小455mm、最大4000mmとしてください。
 - ・ 補剛材の間隔は必ず5m以内とし、1列以上を設けてください。
 - ・ 補剛材に鉛直荷重を負担させることを想定していないので、上載梁レベルに配置される木梁と補剛材との間は必ず隙間があいた状態（固定・積載荷重が伝達しない）にし、天井吊り具を設けない（天井荷重を負担しない）ようにしてください。



